

概要版

第6次金武町総合計画

人口ビジョン

第3期金武町まち・ひと・しごと 創生総合戦略

もくじ

はじめに	1
総合計画	2
基本構想	2
前期基本計画	3
人口ビジョン	13
総合戦略	16

令和8年5月
沖縄県金武町

はじめに

本冊子は、「第6次金武町総合計画」、「人口ビジョン」、「第3期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の3つの計画の要点を取りまとめた概要版です。

総合計画・人口ビジョン・総合戦略について

・第6次金武町総合計画

町政の最上位の構想・計画です。今後の10年間で町が目指す「将来像」や「目標」を定める、全ての行政運営の指針です。

・人口ビジョン(令和6(2024)年時点見直し)

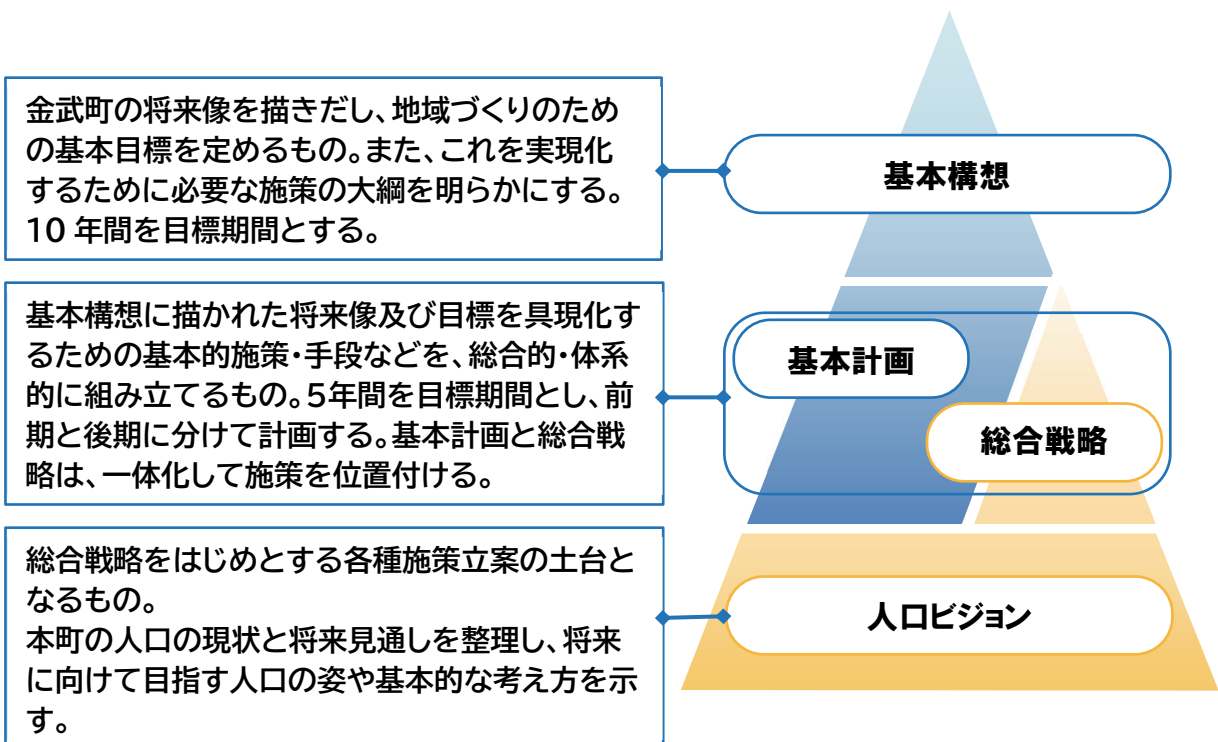
人口の現状と見通しを分析し、人口を維持・増加させるための基本的な考え方を示します。

・第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略

「金武町人口ビジョン」で示した人口展望を実現するため、5年間の基本目標や施策、重要業績評価指標等を取りまとめるものです。なお、本町の人口維持・増加に向けて、総合戦略に記載した取組だけでなく、第6次金武町総合計画に位置付けた施策や、その他必要と考えられる取組についても併せて実施していきます。

本冊子に掲載する計画の構成

本計画から「総合計画」と「総合戦略」を一体化しています。両計画は目的や役割に違いがあるものの、人口減少の克服や持続可能な地域づくりの実現といった共通の方向性を有しています。このため、施策の整合性を確保しながら推進することが望ましいと判断しました。



第6次金武町総合計画 基本構想・基本計画

基本構想は、総合計画における「将来像」や分野別の「基本目標」を定めています。

基本計画は、「基本構想」を実現するためのより具体的な計画であり、「基本構想」の内容を行政の施策として体系化したものです。

総合計画の全体像・まちづくりの将来像

第6次金武町総合計画においては、町民とともにまちづくりを更に推進していくことから、将来像を“つながる輪 夢を支える 金武のまち”とします。



計画期間

基本構想は、令和8(2026)年度を初年度とし、令和17(2035)年度までの10年間を計画期間とします。

将来人口目標

基本構想では、計画の目標年度である令和17(2035)年度の将来人口目標を、11,700人と設定します。

基本計画

次ページより各分野の目標や方針、施策の展開などを掲載します

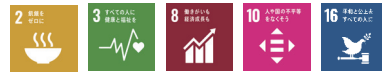
基本目標

1

健やかに 自分らしく いきいきまちづくり

—保健・福祉の充実—

1 健康増進・各福祉施策の推進



▶ 目的

子ども、障がい者(児)、高齢者などが安心して地域で暮らせるよう住民同士が支え合い、見守ることのできる地域づくりを目指す。

▶ 基本方針

相互に支え合うコミュニティづくりや地域活動の充実を図る。
また、各年代の健康保持増進に向けた情報発信や環境整備を推進し誰もが生きがいをもって元気に暮らせるまちづくりを進める。

▶ 施策の展開

- (1) 支え合う地域づくり
- (2) 障がい者福祉の充実
- (3) 高齢者福祉の充実
- (4) 健康づくりの充実

基本計画

2 国民健康保険



▶ 目的

安定的な国民健康保険制度の運営を推進し、町民の健康の保持増進を図る。

▶ 基本方針

国民健康保険制度の安定運営や負担の公平化、医療費適正化、事務の標準化等に努める。
また、保健事業や介護予防の一体的事業を推進するとともに、被保険者への啓発や医療費通知の周知により、健康保険事業に対する町民意識の高揚を図る。

▶ 施策の展開

- (1) 国民健康保険財政の健全化
- (2) 医療費の適正化促進
- (3) 保健事業の推進



介護予防教室



世代間交流



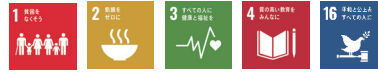
基本目標

2

笑顔と未来を育むまちづくり

—子育て支援・教育の推進—

1 子育て支援の推進



▶ **目的**

子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。

▶ **基本方針**

子育て環境の整備と家庭への支援を充実させるとともに、質の高い幼児教育を実践するため、小学校就学に向けた福祉部局と教育部局のさらなる連携を強化する。

▶ **施策の展開**

- (1) 保育・幼児教育の充実
- (2) 保育環境の充実【戦略】
- (3) 子育て家庭への支援
- (4) 小学校への接続

2 幼児教育の振興



▶ **目的**

町内の全ての子どもに幼児期の教育機会を等しく与え、育成していくことを目指す。

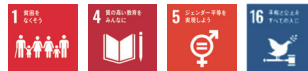
▶ **基本方針**

2023(令和5)年度に設置した幼児教育センターの幼児教育主事、幼小中接続アドバイザーを中心に保育者の質の向上、幼児教育の充実、保幼小中の円滑な接続に努める。

▶ **施策の展開**

- (1) 教育環境の整備【戦略】
- (2) 教育内容の充実
- (3) 保育所・こども園・幼稚園・小学校・中学校の連携

3 義務教育の振興



▶ **目的**

「自立した学習者」育成を目指し、子供にとって魅力ある学校、教職員にとって魅力ある学校づくりを目標に家庭、地域、学校、行政及び関係機関が連携した教育環境づくりを目指す。

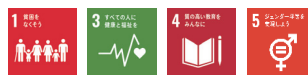
▶ **基本方針**

「自立した学習者」育成プロジェクト(県施策)を推進する。
また、英語・情報教育の推進、食育の展開や新しい給食センター建設による給食環境の整備、教職員の働き方改革とメンタルヘルス対策を推進する。

▶ **施策の展開**

- (1) 学校教育の充実
- (2) 学習環境の整備【戦略】
- (3) 学校給食の充実
- (4) 学校教員の働き方改革

4 青少年健全育成の推進



▶ 目的

「子どもたちは地域の宝」「地域みんなで守り育てる」意識を共有・体現する地域社会の構築を目指す。

▶ 基本方針

保護者が家庭教育の重要性を再認識するための学習機会の提供や相談支援を強化する。

また、家庭・学校・地域の連携により、子供たちが地域に見守られながら成長できる環境を構築する。

▶ 施策の展開

- (1) 青少年健全育成のための環境づくり 【戦略】
- (2) 非行防止活動の推進 【戦略】

5 育英事業の推進



▶ 目的

向学心を持ちながら、経済的理由により修学困難な者に対し、必要な学資の貸し付けを行い、社会的に有用な人材育成を目指す。

▶ 基本方針

進学を希望する学生への奨学金貸付による修学支援を充実させるとともに、本事業の継続性を確保するため償還金の効率的な回収に努める。

▶ 施策の展開

- (1) 育英資金貸付事業の充実 【戦略】
- (2) 育英事業の健全運営



チャレンジ大会



「青少年の非行防止」町民大会



基本目標 3

文化が薫り 絆がひろがるまちづくり

—文化・スポーツの振興—

1 生涯学習の振興



▶目的

あらゆる世代が個々の望む「学び」を通じ、心豊かな暮らしを実現できる、薫り高い教育文化のまちづくりを目指す。

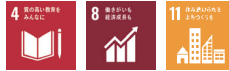
▶基本方針

高度化するニーズに配慮した、生涯学習プログラムの展開や環境整備、人材・団体の育成を通じて生涯学習の振興を推進する。

▶施策の展開

- (1) 社会教育施設の機能充実
- (2) 生涯学習内容の充実
- (3) 生涯学習環境の充実

2 地域文化の振興



▶目的

文化財の保護・活用、地域文化の再認識・継承を通じ、郷土への誇りを育み、魅力あるまちづくりを推進する。

▶基本方針

特有の歴史や文化財を正しく認識・継承することで、町民の一体感を醸成し、貴重な文化的資源を地域発展に活用する。

▶施策の展開

- (1) 文化財の保護・活用
- (2) 移民・民俗資料館の建設
- (3) 地域文化の再認識と継承 【戦略】

3 スポーツ・レクリエーションの振興



▶目的

誰もがスポーツに親しめる環境を整え、キャンプ等の受入による地域活性化と健康で活力あるまちづくりを推進する。

▶基本方針

体育施設の計画的な機能強化と適切な管理運営に努め、指導者育成や教室の充実により競技力向上と普及を図る。

▶施策の展開

- (1) 社会体育施設の改修・機能高度化
- (2) スポーツ・レクリエーション活動の充実
- (3) 生涯スポーツの推進

4 国際交流の推進



▶目的

国際感覚豊かな青少年を育成するとともに、世界各地の移住国との絆を深める。

▶基本方針

移民関連の記念事業や子弟受入・派遣を継続するとともに、ハワイ短期留学等を通じ国際的人材を育成する。

▶施策の展開

- (1) 国際交流推進体制の充実
- (2) 国際交流事業の推進 【戦略】

基本目標

4

みんなで支える 住みよいまちづくり

—生活環境・基盤の整備—

1 生活環境の整備



▶ **目的**

生活環境の向上と地域定住化を図る。

▶ **基本方針**

不法投棄対策の徹底、野生動物との共生や適正管理を進める。
また、老朽化した火葬場や町営住宅の計画的な更新・検討を推進する。

▶ **施策の展開**

- (1) 環境衛生の推進
- (2) 金武火葬場の施設更新
- (3) 町営住宅の施設更新 【戦略】

2 道路の整備



▶ **目的**

安全な道路環境の整備を行う。

▶ **基本方針**

道路のネットワーク化や歩行者の安全確保を図るとともに、狭隘道路の改良や橋梁の老朽化対策を強化する。

▶ **施策の展開**

- (1) 道路ネットワークの形成
- (2) 町道の整備
- (3) 道路環境の改善
- (4) 橋梁の保全 【戦略】

3 上水道の整備



▶ **目的**

安全・安心な水の安定供給を目指す。

▶ **基本方針**

安定供給のための施設整備を充実させるとともに、経営の効率化や料金の適正化に向けた検討を行う。

▶ **施策の展開**

- (1) 水道施設の整備 【戦略】
- (2) 環境衛生の推進
- (3) 水道事業の健全運営

4 下水道の整備



▶ **目的**

生活環境の向上や自然環境の保全、また発生する処理水、汚泥の再利用などによる循環型社会の形成を図る。

▶ **基本方針**

下水道への接続促進と維持管理の充実を図る。
また、汚泥から製造される堆肥の活用を進めるとともに、事務の効率化や経費節減により健全な事業運営を推進する。

▶ **施策の展開**

- (1) 下水道施設の整備
- (2) 下水道事業の健全運営 【戦略】
- (3) し尿処理の適正化促進



5 河川・海岸周辺の整備



▶ 目的

河川基盤の整備充実と水質保全対策の推進を行う。

▶ 基本方針

河川の水質保全を推進し、億首川の活用や海浜公園の拠点化について検討を進める。

▶ 施策の展開

- (1) 河川基盤の整備・維持管理の充実【戦略】
- (2) 水質保全対策の推進
- (3) 河川環境の保全再生・活用
- (4) 海岸周辺整備事業の検討

6 公園緑地の整備



▶ 目的

公園・緑地の整備充実を図り、住みよいまちづくりを推進する。

▶ 基本方針

遊具等の適正な維持管理に努め、一部公園については機能強化を検討する。
また、公共施設や集落における緑化を推進する。

▶ 施策の展開

- (1) 公園施設の整備充実【戦略】
- (2) 維持管理体制の確立
- (3) 緑化の推進

7 地球温暖化対策の推進



▶ 目的

脱炭素社会の実現に向け、温室効果ガス排出量の削減対策を推進する。

▶ 基本方針

温室効果ガス排出量の削減を図り、脱炭素化の取組を通じて地域課題の解決や暮らしの質の向上を図る。

▶ 施策の展開

- (1) 再生可能エネルギーの導入拡大
- (2) 省エネルギー対策の推進
- (3) 環境に配慮したまちづくり
- (4) 次世代を担う子どもたちの育成

8 情報・通信の推進



▶ 目的

情報へアクセスしやすい環境づくり及び各種手続きのオンライン化を推進し、町民生活の利便性向上を図る。

▶ 基本方針

デジタルを活用したニーズに応じた情報発信や、迅速な防災情報の発信により、安全・安心なまちづくりを推進する。
また、本町におけるDX推進方針を策定し、行政手続きのオンライン化等を推進する。

▶ 施策の展開

- (1) 情報配信システムの機能強化
- (2) 配信情報の充実
- (3) 電子申請の推進【戦略】

基本目標

5

安全・安心に暮らせるまちづくり

—環境衛生・防災対策の推進—

1 消防・救急体制



▶ 目的

町民の安全・安心を守るため、火災予防の強化、消防・救急体制の充実を図る。

▶ 基本方針

火災予防対策の強化と防火意識の普及、消防装備や水利の整備拡充、消防団との連携強化に努める。また、救命率の向上を図るため、高度なプレホスピタルケア体制の構築や応急手当知識の普及、救急車の適正利用に係る啓発を促進する。

▶ 施策の展開

- (1) 火災予防の充実
- (2) 消防力の強化
- (3) 救急・救助体制の充実

2 防災・減災対策及び危機管理



▶ 目的

町民の防災・危機管理意識を高め、「自助・共助・公助」の理念に基づく安全なまちづくりを推進するとともに、多様化する危機事象から町民の生命と財産を守る。

▶ 基本方針

「地域防災力の根本的な強化」を掲げ、安全・安心を確保する体制の構築を推進する。そのために、町民の意識醸成や行政の危機対応能力向上、防災インフラ・情報伝達基盤の充実を3本柱として推進する。

▶ 施策の展開

- (1) 防災意識・危機意識の醸成 【戦略】
- (2) 防災・減災対策の整備・充実 【戦略】
- (3) 危機管理体制の確立

3 防犯・交通安全対策



▶ 目的

行政と地域・住民が一体となり、防犯対策の充実と防犯意識の高揚、交通事故の防止・減少のための環境整備と交通安全意識の普及に努め、安全・安心なまちづくりを進める。

▶ 基本方針

防犯体制の充実と自主防犯活動の強化を図り、関係機関と連携し防犯対策の拡充を進める。
また、継続的な交通安全活動や施設の整備拡充を推進するとともに、観光等により交通環境が変化する地区での安全確保に向けた対策を検討する。

▶ 施策の展開

- (1) 防犯意識の高揚
- (2) 防犯施設整備等の充実 【戦略】
- (3) 交通安全意識の高揚
- (4) 交通安全環境の整備
- (5) 交通安全対策の充実



基本目標

6

活気あふれる チャレンジのまちづくり

—産業の振興—

1 農林・畜産業の振興



▶ 目的

基幹産業としての生産基盤や農村環境の整備を進め、地域の特色を生かした豊かな活力ある振興を図る。

▶ 基本方針

生産基盤の整備、スマート農業の推進、および担い手への農地集積を進め、強い農林・畜産業を振興する。
また、循環型農業の実施や、担い手育成・経営指導を推進する。

▶ 施策の展開

- (1) 農林畜産業の生産振興・基盤整備の充実【戦略】
- (2) 環境保全の推進【戦略】
- (3) 農村地域の振興【戦略】

2 水産業の振興



▶ 目的

漁獲量増加への取組や観光漁業の推進、水産物加工販売体制の確立など、漁家の経営安定にむけた水産振興に努める。

▶ 基本方針

漁場環境の保全や金武湾の蘇生、浮魚礁や定置網の活用による漁獲量回復に取り組む。また、養殖加工施設の整備や魚類養殖の導入を進める。
さらに、新規漁業者をはじめとする人材育成を図り、漁業の活性化に努める。

▶ 施策の展開

- (1) 漁業経営の近代化促進
- (2) 漁業経営の安定化促進【戦略】
- (3) 漁業環境の保全整備

3 商工業の振興



▶ 目的

商工業者の育成、企業誘致などを支援し、地域経済の活性化、雇用の創出を図る。

▶ 基本方針

魅力ある商業空間の創出や、宿泊施設等からの誘客を促すイベントの開催、商工会との連携強化に取り組む。
また、地域特性に適した企業誘致や地場産業の育成、および経営基盤強化に向けた融資・相談体制の拡充に努める。

▶ 施策の展開

- (1) 商業環境の整備
- (2) 商業経営の安定化【戦略】
- (3) 商工会の支援体制整備・強化支援
- (4) 新規企業誘致の推進【戦略】
- (5) 既存地場産業の育成

4 観光業の振興



▶ 目的

独自の文化や豊かな自然環境を生かした魅力ある観光地の形成を目指し、多様なニーズに対応した観光振興を促進する。

▶ 基本方針

独自の文化や自然環境を生かした体験型観光の振興や、観光関連施設の整備を推進する。

また、観光協会や事業者への支援を行うとともに、観光 DX の強化による課題解決を目指す。

▶ 施策の展開

- (1) 観光資源の活用・開発・入域観光客の取り込み 【戦略】
- (2) 観光基盤の整備 【戦略】
- (3) 観光内容の充実 【戦略】
- (4) 受入体制の拡充

5 雇用対策の推進



▶ 目的

町民の雇用の場の創出や支援制度の充実、中小企業等との連携を図り、就業意識の向上と雇用対策・人材育成を目指す。

▶ 基本方針

「金武町就活支援センター」を通じた就職支援やキャリア教育を推進し、雇用の場の創出とともに中長期的な雇用対策・人材育成のための体制構築を図る。

▶ 施策の展開

- (1) 雇用の場の創出 【戦略】
- (2) 技能・資格取得の促進
- (3) 相談窓口の充実
- (4) 中長期的な雇用対策 【戦略】



新開地地区



KIN サンライズビーチ



基本目標 7

協力と信頼で築く 持続可能なまちづくり

— 行財政の推進 —

1 町民と創るまちづくり



▶ 目的

積極的な情報公開に努めるとともに、町民と行政が一体となった「協働のまちづくり」を目指す。

▶ 基本方針

「金武町情報公開条例」に基づき、まちづくりを推進する上で必要な情報を積極的に公開する。また、町民とともに創る協働によるまちづくりを目指すとともに、地域コミュニティで活躍できるリーダー・担い手を育成する。

▶ 施策の展開

- (1) 町民参加によるまちづくり
- (2) 広報活動の充実
- (3) 広聴活動の充実 【戦略】

2 行政運営の確立



▶ 目的

複合庁舎整備や行政DXの成果を基盤として、「強靱で持続可能な行政経営」「高度化した行政サービスの提供」を実現し、町民の安心と利便性を高め、長期的に安定した自治体運営を確立する。

▶ 基本方針

レジリエンス経営の深化や行政DXの高度化を推進するとともに、財政・施設・組織・人材の最適化を図り、災害や社会変化に強い持続可能な自治体経営を構築する。

▶ 施策の展開

- (1) 複合庁舎の整備
- (2) DXの高度化
- (3) 公共施設マネジメントの再構築
- (4) 公共交通の導入
- (5) 業務改革と効率的な行政運営
- (6) 定員管理及び給与の適正化
- (7) 人材育成と組織力向上
- (8) 広域行政の連携

3 財政運営の確立



▶ 目的

歳入確保及び歳出削減を行い、持続可能な予算運営を目指す。

▶ 基本方針

公共施設の新設・更新等に伴う財政出動を見据えた行財政改革を推進する。
また、中長期的な財政計画に基づく健全性の確保と歳出削減等により、持続可能な財政運営に取り組む。

▶ 施策の展開

- (1) 財源の確保 【戦略】
- (2) 健全な財政運営の確立

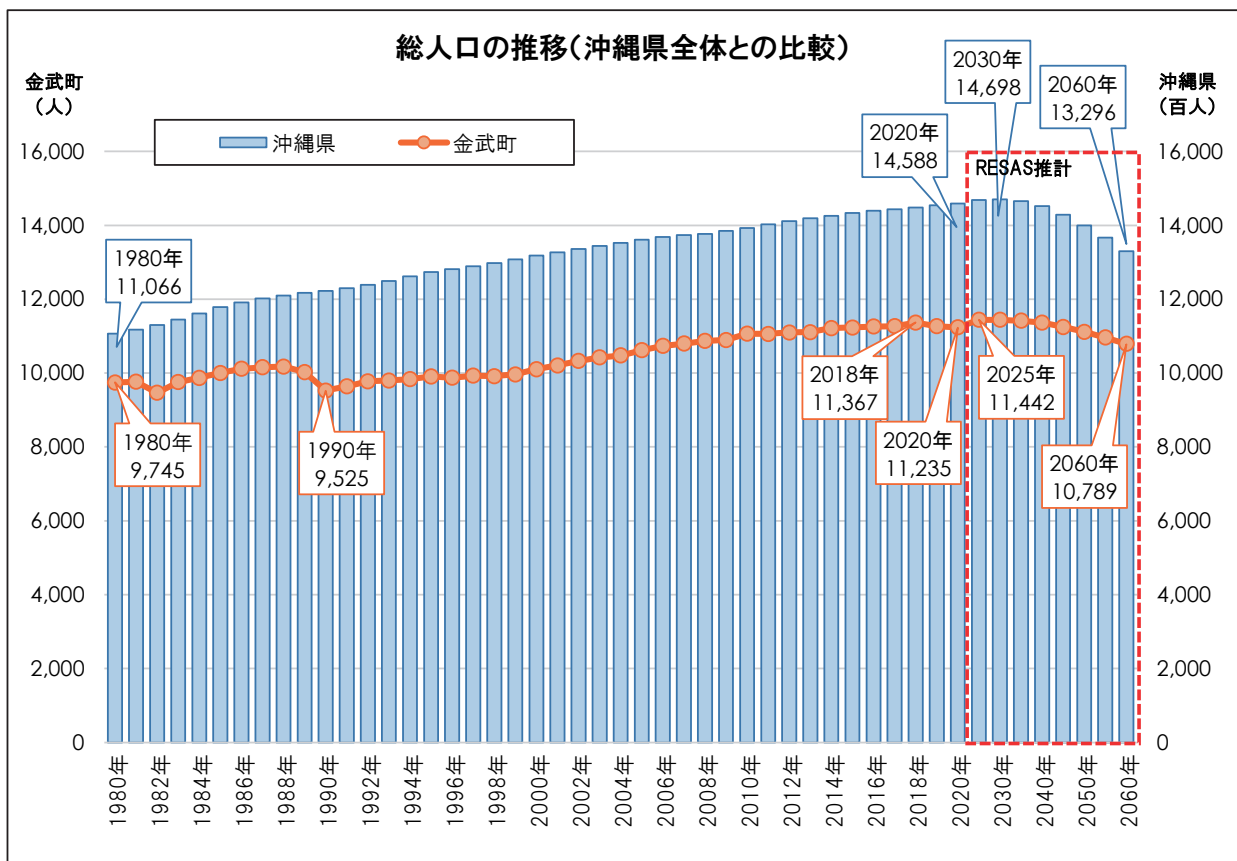
人口ビジョン(令和6(2024)年時点見直し)

総人口の推移

本町の人口は、昭和55(1980)年からの推移をみると、平成2(1990)年に大きく減少していますが、それ以降は順当に増加傾向にありました。直近では、平成30(2018)年の11,367人から減少傾向にあります。

RESAS(地域経済分析システム)による将来人口推計では、本町の人口は令和7(2025)年の11,442人をピークに減少に転じ、令和42(2060)年には10,789人程度の人口になると予測されています。この人口減少の度合いは、沖縄県全体の人口減少度合いと比較すると、ゆるやかな見込みとなっており、本町においては人口減少社会の到来まで比較的余裕があると捉えることができます。余裕のある現在のうちに、本町における適切な人口の維持について施策を検討することが重要です。

総人口の推移(沖縄県合計との比較)



資料：沖縄県企画部統計課「沖縄県統計年鑑」「沖縄県推計人口」「長期時系列統計データ/市町村別推計人口」、2020年～2060年は、まち・ひと・しごと創生本部「地域経済分析システム(RESAS)」におけるパターン1(国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」)に基づきまち・ひと・しごと創生本部作成)

※RESASの将来推計値を除き、各年とも10月1日現在。

人口ビジョン
総合戦略



本町の将来人口の展望

様々な基礎データ分析やシミュレーション(※本編参照)より、本町の将来人口の展望を「令和32(2050)年に12,000人程度の人口を維持する」と設定します。人口の減少は、地域コミュニティの維持や経済活力の低下につながる危険性をはらんでいます。活力ある金武町を継続していくためにも、適切な人口の維持を目指します。

本町の将来人口の展望

令和32(2050)年に12,000人程度の人口を維持する

第5次金武町総合計画では、令和7(2025)年に人口12,000人を目指すことを位置付けており、その整合を図りながら、同程度の人口を維持することを目指す。

合計特殊出生率の目標

合計特殊出生率は令和4(2022)年は1.67まで落ち込んでいるため、今後は段階的に増加させ、25年後の令和32(2050)年に2.1まで増加させることを目指します。

ただし、合計特殊出生率が高い数値であっても、子どもを産み育てる世代の人口が少なくては、出生数は増えません。生産年齢人口の増加を目指す「移動数の目標」と連動した取組を進めます。

合計特殊出生率の展望

	実績値		2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
	2020年	2022年						
合計特殊出生率	2.01	1.67	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.1

移動数の目標

20歳から49歳までの男女が、次のとおり転入超過することを目指します。

○令和8(2026)年～令和32(2050)年にかけて、20歳～49歳の男女が毎年およそ5人転入超過近年は民間事業者によるマンション等の建設がみられ、今後も一定数の転入が見込まれます。このような動向と足並みをそろえて取組を進めます。

移動数(転入超過数)の展望(男女計)

	2026～ 2030年	2031～ 2035年	2036～ 2040年	2041～ 2045年	2046～ 2050年
20～49歳 人口の転入 目標	24人	24人	24人	24人	24人

目指すべき将来の方向

本町における目標人口を達成するための視点を次のとおり定めます。

「地方版総合戦略(金武町版)」では、結婚・出産や仕事について町民の希望をかなえ、現役時代に活躍できるまちを目指してまちづくりを行ってきました。今後もその取組は継続しつつ、町外からの移住者も含めて、みんなで元気な金武町をつくることを目指します。

目標人口を達成するための視点

①生まれる子どもの数を増やす
【自然増を増やす】

- 出産について町民の希望をかなえる
- 安心して産み育てられる環境を維持・強化する

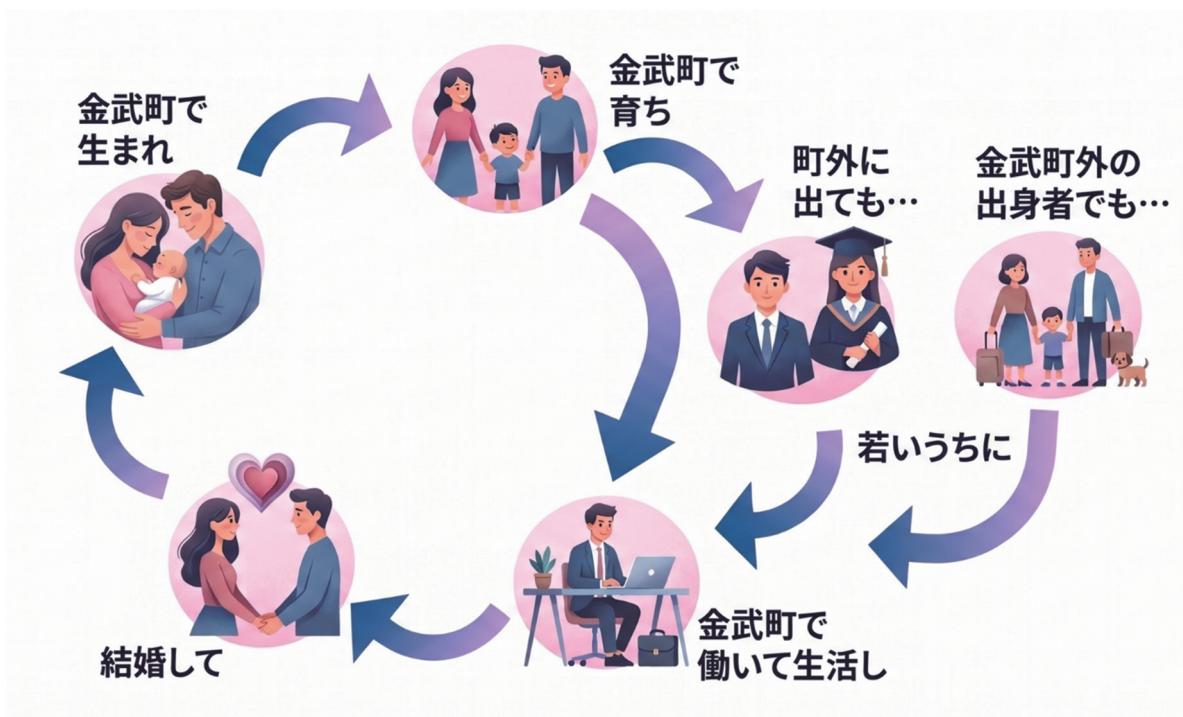
②町民のUターンを促す
【社会増を増やす】

- 町民が住み続けられる環境をつくる(雇用の場の創出、交通・情報ネットワークの整備、求人とのマッチングなど)
- 希望者が住める環境をつくる(住宅等受入環境の整備など)

③町外からのIターン・Jターンを促す
【社会増を増やす】

- 選ばれるまちをつくる(魅力の醸成、発信)
- 関係人口や交流人口の増加を図る

目指すサイクル



第3期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略

総合戦略は、「金武町人口ビジョン」で示した人口展望を実現するため、5年間の基本目標や重要業績評価指標等を取りまとめるものです。

具体的な施策は、第6次金武町総合計画[前期基本計画]に位置付けた施策と同じ内容であるため、施策に紐づく重要業績評価指標(KPI)のみ掲載します。なお、本町の人口維持・増加に向けて、本戦略に記載した取組だけでなく、第6次金武町総合計画に位置付けた施策や、その他必要と考えられる取組についても併せて実施していきます。

4つの基本目標

第1期及び第2期の「金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略」や、国・県の戦略の内容を踏まえ、本町における基本目標を下記のとおり設定します。

本町の人口維持・増加に向けて、自然増を増やすための取組と、社会増を増やすための取組、その両者をより促進するための取組を基本目標とします。

つながる輪
夢を支える
金武のまち

基本目標①

町民の出産・子育ての希望をかなえる

(自然増拡大に向けた取組)

本町ではこれまでも子育てに関する多様な支援を行ってきました。引き続き、子育てに関する環境の改善を図り、町民が安心して出産・子育てできる環境の創出に努めます。

基本目標②

人の流れと受け入れる基盤をつくる

(社会増拡大に向けた取組)

将来にわたって人口を維持し、活気にあふれたまちづくりを推進するためには、町民のUターンを促し、町外からの移住促進に向けた布石を打つことも重要です。定着に向けた環境整備や交流人口の増加に努めます。

基本目標③

金武町民が安心して働ける環境をつくる

(より促進するための取組)

町民や移住者の定住を促すためには、働く環境の創出が重要です。働く人・働きたい人の支援や町内産業の魅力向上を図り、町民が安心して働ける環境の創出に努めます。

基本目標④

町の特性を活かした魅力ある金武町をつくる

(より促進するための取組)

町民や移住者が住み続けたいと思うまちになることも重要です。金武町の特性を活かした魅力増進や安心して暮らせるまちづくりを図り、町民が誇りに思う選ばれるまちづくりに努めます。

人口ビジョン
総合戦略

重要業績評価指標 (KPI) について

次ページより、基本目標ごとに重要業績評価指標(KPI)を整理します。KPIとは、施策の達成度を測るための目標値であり、本戦略では2030年度(令和12年度)を目標年度として設定しています。表には起点となる2025年度(令和7年度)の現状値を併記しており、今後の評価・検証にあたっては、この目標値に対して2030年度(令和12年度)の実績がどこまで到達したかを確認することで、施策の効果を客観的に判断します。

基本目標① 町民の出産・子育ての希望をかなえる

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標の方向	目標値 (2030年度)
保育士不足による定員割れの人数	9人	減少	0人
青少年健全育成に関する講座(家庭教育講座など)の参加人数 (延べ参加人数/年)	1,625人	維持	1,625人
地域と連携した非行防止活動体制(パトロール実施回数/年)	87回	増加	100回
年齢別クラス担任研修会(回/年)	1回	維持	1回
保幼小連携検討会(回/年)	3回	維持	3回
学校体育館への空調設備を設置した学校数(累計)	0校	増加	4校
児童生徒1人1台端末更新(台/年)	448台	増加	450台
電子黒板更新(台/年)	10台	維持	10台
育英資金貸与生人数(新規/年)	16人	維持	16人
海外移住者子弟等研修生受入事業	94人	増加	109人
青年海外派遣研修生派遣人数	26人	増加	36人
金武町ハワイ短期留学派遣人数(人/年)	10人	維持	10人

基本目標② ひとの流れと受け入れる基盤をつくる

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標の方向	目標値 (2030年度)
町内観光客入域	545,000人	増加	599,500人
キャンプ見学者数の増加	33,000人	増加	36,300人
DX推進に向けた研修会	0回/年	増加	1回/年
町営住宅の施設更新実施数(累計)	0団地	増加	3団地
橋梁の保全(健全化)(累計)	19橋	増加	22橋
河口閉塞の浚渫工事	3件/年	維持	3件/年
既設公園の改修等整備	19箇所	維持	19箇所
有収率の向上	86.88%	増加	90%
農業集落排水事業への接続率	73.12%	増加	80%



基本目標③ 金武町民が安心して働ける環境をつくる

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標の方向	目標値 (2030年度)
農業用かんがい施設設備の更新(累計)	1箇所	増加	3箇所
農道橋長寿命化計画に基づく調査・整備橋数(累計) ※町内農道橋(全13橋)	4橋	増加	8橋
スマート化推進に向けた勉強会	0回/年	増加	1回/年
堆肥年間生産販売量	2,300t/年	増加	2,900t/年
認定農業者数(累計)	21人	維持	21人
認定新規就農者数(累計)	7人	増加	12人
遊休農地面積	14.6ha	減少	10ha
藻類取扱量	86t/年	増加	100t/年
鮮魚・魚貝取扱量	29t/年	増加	37t/年
商品券の販売額	240,000千円	維持	240,000千円
企業誘致数(累計)	2企業	増加	3企業
町内観光客入域	545,000人	増加	599,500人
DX推進に向けた研修会	0回/年	増加	1回/年
キャンプ見学者数の増加	33,000人	増加	36,300人
就活支援センター利用者が雇用者(非正規含む)となった人数(累計)	255人	増加	306人
就活支援センターの紹介状発行件数	25件/年	増加	30件/年
ギンバル地区の進出企業雇用者数(累計)	190人	増加	228人

基本目標④ 町の特性を活かした魅力ある金武町をつくる

重要業績評価指標(KPI)	現況値	目標の方向	目標値 (2030年度)
防災訓練の参加人数	約2,000人	維持	約2,000人
防災訓練の訓練内容数	2種類	増加	4種類
戸別受信機の普及率	65%	増加	70%
LED型街灯の新設・改修(新設・改修が必要な箇所のうち対応済みの割合)	92%	維持	95%
オンライン申請手続き種類数	27種類	増加	35種類
町税の徴収率	96.16%	増加	96.3%
区との行政懇談会開催数	5回	維持	5回
ふるさと応援寄附金額	176,556千円	増加	251,556千円
講座・企画展・見学会等への参加人数	90人	増加	100人
海外移住者子弟等研修生受入事業(累計)	94人	増加	109人
青年海外派遣研修生派遣人数(累計)	26人	増加	36人
金武町ハワイ短期留学派遣人数(人/年)	10人	維持	10人



“つながる輪 夢を支える 金武のまち”

金武町イメージキャラクター「金武タームくん」

第6次金武町総合計画 [前期基本計画]
人口ビジョン [令和6年時点見直し]
第3期金武町まち・ひと・しごと創生総合戦略
【概要版】
令和8年5月

企画・編集：金武町役場 企画課
〒904-1292 沖縄県国頭郡金武町字金武1番地
電話：098-968-6262(直通) 有線：8-6262
Mail:kikaku@town.kin.lg.jp